

8.3 生物・生態系

8.3.1 調査事項

調査事項は、表 8.3-1 に示すとおりである。

表8.3-1 調査事項

区 分	調査事項
ミティゲーションの実施状況	<ul style="list-style-type: none"> ・クロマツ植林は、工事による影響を回避し既存緑地として保全する計画としている。 ・計画地内には、既設の緑地と合わせて約9,970m²の新たな緑地を整備する計画としている。 ・地上部緑化として、高木、中木等を植栽する。 ・十分な植栽基盤（土壌）の必要な厚みを確保する。 ・タンキリマメの工事後の生育状況については、フォローアップ調査で確認する。 ・植栽樹種は「植栽時における在来種選定ガイドライン」（平成26年5月 東京都環境局）等を参考にするとともに、隣接する葛西臨海公園との連続性に配慮して選定する。

8.3.2 調査地域

調査地域は、計画地及びその周辺地域とした。

8.3.3 調査手法

調査事項は、表 8.3-2 に示すとおりである。

表 8.3-2 調査手法

調査時点		工事の終了後とした。
調査期間	ミティゲーションの実施状況	工事終了後の適宜とした。
調査地点	ミティゲーションの実施状況	計画地及びその周辺とした。
調査手法	ミティゲーションの実施状況	現地調査(写真撮影等)及び関連資料の整理による方法とした。

8.3.4 調査結果

(1) 調査結果の内容

1) ミティゲーションの実施状況

ミティゲーションの実施状況は、表 8.3-3 に示すとおりである。なお、生物・生態系に関する問合せはなかった。

表8.3-3 ミティゲーションの実施状況

ミティゲーション	実施状況
・クロマツ植林は、工事による影響を回避し既存緑地として保全する計画としている。	残置するクロマツ植林と工事区域の間に仮囲いを設置（写真8.3-1）し、クロマツ植林に工事による直接的な影響が及ばないように配慮した。
・計画地内には、既設の緑地と合わせて約9,970m ² の新たな緑地を整備する計画としている。	緑地の整備状況については、整備後に現地確認及び緑化図による確認を行い、今後のフォローアップ報告書において報告する。
・地上部緑化として、高木、中木等を植栽する。	地上部緑化の状況については、整備後に現地確認及び緑化図による確認を行い、今後のフォローアップ報告書において報告する。
・十分な植栽基盤（土壌）の必要な厚みを確保する。	植栽基盤の整備状況については、整備後に現地確認を行い、今後のフォローアップ報告書において報告する。
・タンキリマメの工事後の生育状況については、フォローアップ調査で確認する。	残存する計画地南側のクロマツ植林林縁部の複数の地点で、タンキリマメ（写真8.3-2）の生育を確認した。また、計画地外ではあるが、葛西臨海公園内の複数の地点でタンキリマメの生育を確認した。
・植栽樹種は「植栽時における在来種選定ガイドライン」（平成26年5月 東京都環境局）等を参考にするとともに、隣接する葛西臨海公園との連続性に配慮して選定する。	植栽樹種は、植栽工事時に確認を行い、今後のフォローアップ報告書において報告する。



写真 8.3-1 クロマツ植林周辺の仮囲い



写真 8.3-2 計画地周辺のタンキリマメ